

二部地区活性化だより

野上川の風

発行
二部地区活性化推進機構

編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159



笹だけを彩る五色の 短冊に思いを込めて

七月七日二部保育所幼児と多々楽学園女性部とのたなばた交流会をおこないました。

笹の節句は中国の「乞巧奠」(きこうでん)という行事が奈良時代に伝わり、宮中行事として根付いたものだそうです。

「乞」は願う。「巧」はたくみに上達する。「奠」はまつると言う意味で、織姫にあやかり機織りの技が上手になるよう。ひいてはさまざまな手習い事の上達をねがった行事でした。

笹だけに短冊を吊るすようになったのは江戸時代からで、サトイモの葉に溜った朝露を集めて、墨をすり、その墨で願い事を書く風習となりました。

この短冊には欲望を満たす願いではなく、人としての成長や、手習いの上達を願うことがよいとされています。

二部保育所幼児の成長する姿を思いつつ、たのしい多世代交流会の場となりました。

二部保育所と公民館の共同行事として、今後も続けて欲しい取り組みです。



退任のご挨拶

田 邊 公 教

この度の委員総会において、二部地区活性化推進機構の会長を退任することとなりました。

省みますと平成22年に前住田会長の後を受けて、6年間にわたり会長を勤めさせて頂きましたが、あまりにも前会長の功績が大きかったので、その職責がまっとうできたか危惧しております。幸い役員と委員の皆様にご助け頂き、何とかその職を終える事が出来ました本当に有難うございました。

新しく藤田会長にお世話になることに成りました、今後は新しい感覚で私の不足を補っていただきたいと思います。

二部地区にはまだまだ多くの課題が残されております。新会長の手腕に期待したいと思っております。よろしくお願いします。

私も及ばずながら地域発展のために今後とも新体制に協力していきたいと思っております。

長い間本当に有難うございました。

就任のご挨拶

藤 田 常 雄

この度の役員改選により、会長の要職を引き受ける事となりました。もとよりその器ではありませんが、二部地区活性化推進機構の設立当初の目標に向かって努力致しますので宜しくお願いします。

今年度は部会の再編成を行い、活動をより積極的に展開していきます。地域の情報の発信と、世代間の交流の機会を増やし「笑顔のある賑やかな二部」とするべく取り組みます。それには地域に人、会員、委員の皆さんの積極的な参加、協力が欠かせませんので宜しくお願い致します。

今、地域創生が盛んに言われていますが、これも住民の参加があって出来るものだと思います。この会を一つの足がかりとして頂ければと思います。

この地区も過疎、高齢化が一段と進み一人暮らしの高齢世帯も増えて来ました。そうした中にも「笑顔で元気に」暮らせることが出来るようになればと願い活動をしていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

健康ウォーキングを緑水湖にて

春の農作業も一段落した六月五日。前夜の雨も上がり、当日は晴れの期待の持てる日曜日となりました。

健康スポーツ部会の最初の行事が、健康ウォーキングでした。

参加者は二十五名。九時前には二部公民館を出発しました。

南部町の南さいはく地域振興協議会にお願いし、緑水湖を利用したウォーキングです。自信のある方は遊歩道を二周する参加者もあり、楽しい健康管理となりました。

前日に女性部員で炊事の準備をし、天ぷらの用意をしていただきました。



山菜などを採って遊歩道周辺を散策しましたが、収穫物はほとんどありませんでした。事前に野菜などを準備していたので、参加者のみなさんのおにぎり弁当のおかげは何とかまかなえました。

子供達の参加もあり平坦な舗装道の軽い運動でしたので、休憩時の会話が弾み、充実した健康ウォーキング事業となりました。健康スポーツ部会では会員が気軽に参加し、心地よい汗がかけられる事業を今後も実施します。次の機会はぜひ多数の方の参加をお待ちしています。



平成28年度事業計画

平成28年4月20日二部公民館にて「平成28年度二部地区活性化推進機構委員総会」が開催されました。新年度の活性化推進機構は、新会長に藤田常雄氏（藤屋）を選任し、本会の一層の充実を高める方針が決められました。

会長あいさつでは平成24年度から検討していた本機構の部会についての編成改革を行いました。これは昨年、明治大学の提言による本会の在り方。情報発信の必要性を勘案したものです。

出来るだけ会員のみなさんの協力をお願いできるよう各部会の活動内容も再考し、8部会を6部会に再構築し整理統合いたしました。これにより部会の事業も見直しをしています。

本年度は昨年試行設置していました歴史ガイド部会も本格的に取り組み、二部地域の情報発信を積極的に推進することとなります。

部会担当の事業を変更したことは、再編した各部会の連絡調整を十分に行うことで、今年度の運営を充実し、二部地域のみなさんのご理解を頂けるものとしました。

廃止した部会の事業は他の部会に割り振り、住民のみなさんが、参加ご協力いただける事業計画を策定しています。

<部会別事業計画>

1. 総務部会
 - ア 会報の発行
 - イ 視察研修および視察受け入れ
 - ウ 情報発信
2. 産業振興部会
 - ア 農産物等の栽培支援
 - イ 畦畔管理の負担軽減支援
 - ウ ふるさと小包便の販売
3. 住みよい環境部会
 - ア 道路河川の一斉清掃（不法投棄防止看板の巡視維持含む）
 - イ 外来種の駆除
 - ウ 花壇・菊づくり支援（菊花展開催）
 - エ 高齢者・障がい者への活動支援
 - オ ゆう愛訪問の実施
4. 健康スポーツ部会
 - ア 各種スポーツのイベント開催
 - イ 健康ウォーキングの実施
5. ファンクラブ部会
 - ア ほうきまちづくり円陣の会への参加
 - イ 他団体との交流事業及び世代間交流
6. 歴史ガイド部会（新設）
 - ア 間地峠道の管理
 - イ 出雲街道・富田街道の踏査、
 - ウ 間賀の滝、鎌倉山の踏査
 - エ 講演会の開催及び視察の受け入れ（歴史関係）
 - オ 歴史に関する他団体との交流

廃止した部会は[趣味といきがい部会・福祉ボランティア部会]の2部会です

役員名簿

会 長	藤田常雄
副 会 長	中田英明 樋口春子 野口哲男
監 事	中田瑞穂 吉川明秀
事 務 局 長	影山孝宏
書 記 会 計	白根史雄
部 会 長	足澤秀基 金田宏 浅田恵美子 舟越康夫 西村康平 岡村昌好
副 部 会 長	住田洋子 花田学 中田京子 住田浩平 花田敏子 仲田稜子
顧 問	住田泰 田邊公教
総 務	足澤秀基 住田洋子
	安藤正治 加藤正純 金田芳子 野口哲男 影山廣美 八橋啓子 奥田幹敏 石田励次
産 業 振 興	金田宏 花田学
	福島久正 樋口修 梶間晋二郎 杉原順一 畑嘉夫 影山哲己 長田千歳 池口眞介
	奥田勝江 三島透 大森英一
住みよい環境	浅田恵美子 中田京子
	入江美喜子 山本芳史 上嶋當枝 西村豊子 杉岡聖子 須村延幸 影山美紀子
	中田英明 中田範幸 中田瑞穂 樋口恵美 米原涼子 田中三智子
健康スポーツ	舟越康夫 住田浩平
	福島加津枝 樋口春子 嶋津順子 住田明穂 西村勝 安達浩子 高橋知昭
	西村恵介 南波英昭 田中郁子 米原雄太 加藤正憲
ファンクラブ	西村康平 花田敏子
	浅田泰弘 吉川明秀 永井欣也 車睦宏 村上達子 影山千世子 三島秀文 山科牧子
歴史ガイド	岡村昌好 仲田稜子
	樋口春子 忠田延雄 山本哲也 安達允 永井欣也 泉原清美 住田泰
	藤田常雄 八橋啓子 山根宏子 生田武義 大森英一

『おもてなし弁当』で ゆう愛訪

二部地域にお住まいの八十歳以上の独居の方を対象に、住みよい環境部会では、弁当配布を行いました。

互助、共助の必要な集落内のコミュニケーションは確立されているとは言え、高齢者の一人暮らしでは、すべての悩みが解消されているとは限りません。

この「おもてなし弁当」を手渡しで配布することで、悩みや不安を解消し、安否確認の目的もあり実施しています。

現在、当機構で把握している八十歳以上の独居世帯は三十戸ですが、まだまだ元気で活躍されている世帯も多くあります。

六月四日(土)の昼食弁当となりました。皆でメニューなどを考え、会員相互の親睦にも役立つ行事となりました。女性中心でしたが十二名の協力を得ました。配布した「おもてなし弁当」は、大変喜ばれました。

この弁当配布は年一回ですが、今年の十二月のクリスマス時期にはサンタクロースプレゼントの配布を計画しています。



朝どれタケの子の出荷

産業振興部会では二部地域の特色ある農産物や加工商品等の開発をどのように進めるか、さまざまな取り組みを行っています。

その一環として朝採れタケの子の集出荷を行いました。タケの子の加工品は安価な外国産が主流ですが、安心・安全な国産品の流通需要が見込めるため、(株)まつた食品等の要望で、出荷するものです。

3月下旬から部会を中心に出荷希望農家等を募り、収穫準備態勢を整えました。昨年まではわらびなどの商品も扱われましたが、需要が少ないため、タケの子のみの出荷でした。出荷希望のみなさんは扱い品目の増加を希望される声もありましたが、要望に添えなかったことに課題を残しました。

今年は、4月18日から5月9日まででした。

1558キログラムの出荷となりました。

農家で余り、消費されにくい農産物の活用について今後も研究を重ねるとともに、皆さんの情報提供もお願いしたいと考えています。



オオキンケイギクの駆除

五月二十八日(土)午前九時。二部公民館駐車場に集合。今日は外来迷惑植物「オオキンケイギク」の除草イベントです。

今年も黄色の花びらが県道の斜面に生息していました。根絶やしにしなければ、在来の植物体系が乱されることもあり、地域の環境保全確保から実施したものです。

当日は曇り空で、作業には良い状況でした。参加者二十四名は「オオキンケイギクの駆除」と意気込み、作業にかかります。

二時間の作業で、福島橋から間地集落までの区間を作業しました。

この外来植物は根も取り除かなければならぬため、土堀用の手クワが必要で、斜面に植生している厄介なもの。二、三人でペアを組み、ゴミ袋

に詰め込む作業をしました。

この日の駆除量はゴミ袋にして三十四袋。百八十五キログラムでした。ご協力いただいた会員みなさん大変ごろうさまでした。

